

## 山行報告書

山行管理部

### 自然保護部 能勢電鉄山下駅～三草山 10月18日(火曜日)

L 石野(博)・石野(明)・明賀 参加23名(こもれびの会12名)

森山バス停9:40ー慈眼寺10:10ーゼルフイスの森10:40ー三草山頂11:50 昼食・交流会ー森山バス停15:25

秋恒例の「山の会こもれび」小森田先生の案内で、キノコ観察交流ハイキングを行いました。季節はずれの暑さからなのか、この日は、キノコをほとんど見つけることが出来ませんでした。小森田先生の話しによると、キノコは年々減っていて、小さくなっているそうです。原因はいろいろあるようですが、地面下は相当痛んでいるとのこと。今まで楽しむだけで、あまりに知らないきのこの世界、考えさせられました。 昼食後は、自己紹介や大好きなキノコとの出会いのお話をしたりして交流しました。 (明賀 記)

### 例会山行 ロックガーデンから東お多福山 10月23日

CL高橋、SL入山、堀野。37名、内一般3名)

阪急梅田8:00 集合→8:10 発車→芦屋川駅→公園9:05 出発→高座の滝上→風吹岩→雨ヶ峠→東お多福山(昼食、クラブ紹介)13:05 出発→雨ヶ峠→住吉川→黒五峠→打越峠→山ノ神→岡本神社解散4:20

事前の天気予報のせいかコースも参加人数も予想より少なく、長距離、長時間が敬遠されてしまったかと反省点です。今回、コースの混雑を予想して、渋滞の原因にならないよう1班に早い人を、ゆっくりのひととサポーターの方で2班としました。間隔を確保したかったのです。暑くもなく、寒くもなく、歩きごたえのあるコースはいかがでしたでしょうか?「今回の班体制は良いよね」「休憩時間が長くなり、寒かった」という声があったようです。 (高橋 記)

### ウィークデー 武田尾から大峰山 10月26日 L 阪上 参加12名

武田尾駅9:45→廃線跡10:10→親水公園10:30→登山口10:45→桜の園11:00→大峰山頂(昼食)12:10→出発12:40→登山口14:00→武田尾駅14:40

曇り空の中、武田尾駅より廃線跡の二つのトンネルを往復して大峰山へ蒸し暑く息も切れる急登が続く中、カツラの枯葉が甘い香りを立ち込めていた。コウヤボウキの群生にも出会えて感激!!! 頂上手前では、蜂の大群に出くわしびっくり、蜂を刺激しない様にゆっくり進み何事もなく通過しほっとしました。植物に詳しいSさんに説明を聞きながらの楽しい山行でした。 (島田 記)

## 教育部山行 読図講習 芦屋川-ロッカゲトン-横池-金鳥山-岡本

10月 30日 CL 高橋、SL 高桑 参加 14名

阪急芦屋川駅 08:30 集合。

会下山遺跡：地形図の記号の説明と確認

地形を読む：実地の地形と等高線の表現を体感する

(尾根道の見え方、等高線の狭い=急登)

306 ピークへ：読図によって地形を読むことでピーク位置を探す

コンパスの使い方：山座同定やその逆の現在地の特定、

進むべき方向の設定方法などの講習

昨秋は一般会員の参加者はゼロだったのが今回は9名と盛況の講習会であった。昨秋より高橋さんが読図担当をして緻密なカリキュラムが周知して、リーダーも含め盛況となった。等高線の読み方、尾根-谷の地形の読み方や地図を見て歩行時間の予測などを実地で体験をすることでテキストだけでは得られない理解ができたと思う。

(高桑 記)

## 土曜・ターブル合同山行 台高山脈の北端を縦走する

11月 12日 L 児玉、SL 乾、定井、安田 参加 30名

大又林道登山口 9:15→明神平 11:39→水無山 11:53→国見山 12:15→食事→出発  
12:32→馬駐場辻 13:08→赤ゾレ山、下 13:21→伊勢辻山 13:46→伊勢辻 13:52→ハンシ山 14:29→ハッピーノタワ 14:57→雲が瀬山 15:48→高見大峠駐車場 16:14

下見の時(11月3日)は紅葉もあと少し、当日には見頃だと思っていたのが、残念ながら中腹辺りはまだ残っていたが頂上辺りは紅葉どころか落ち葉に変わっていた。ハンシ山から落ち葉の絨毯を踏みながら急登、急坂 落ち葉に阻まれ道が分かりにくく、疲れた。もう少しゆっくり歩いてと声、後ろの確認をしながらゆっくり歩く。何度か違う所に侵入しそうになったが、後ろについてくださった、Iさんに助けられ無事道迷いせず下山することができました。

“いい山やったわ” “面白かったわ” と言ってくれた言葉に、疲れも吹き飛びました。参加して頂いた皆さんありがとうございました。

(安田 記)

**自然保護部 そば打ち、試食会 11月12日 事務所にて 参加15名**

手打ちそばができ上がるまでを間近に見せていただきました。

そば打ち名人のI氏は20年のキャリア。

初めはそば粉とつなぎ粉を8:2の割合でふるいにかけて、大きな鉢で水回しという加水を数回行い、30分以上こね回し、練り上げ、延ばしにかかります。

長いめん棒で、丁寧に円型から正方形へたたんで切るまで根気のいる作業です。

夏まきしたソバ種が栽培され、収穫は10~11月頃で、新そば、打ちたてのそばをいただくのは最高のぜいたくです。天ぷらも作って、天ざるそばは絶品でした。初参加の会員たちから、来年も是非にとの声があがりました。

(石野(明) 記)

**ウィークデー 当麻寺駅ー平石峠ー近つ飛鳥博物館**

11月16日 CL 森下 SL 杉谷 参加13名

近鉄当麻駅ーけはや座ー当麻寺(9.30)ー竹之内古墳(9.55)ー竹之内街道ー平石峠(11.15)ー高貴寺(11.50)ー磐船神社(12.10)ー平石城跡(12.30-13.10 昼食)ー風土記の丘ー近つ飛鳥博物館(14.00)ーバス停阪南ネオポリスー近鉄富田林駅

朝から山行日和 車窓からの二上山は紅葉の見ごろ。当麻寺を出発し古墳や紅葉を眺めながら平石峠へ しばらくは急坂 高貴寺 磐船神社は ひっそりした山中に風情のある神社 落ち葉の道を歩いて平石城跡へ昼食。桜並木と古墳がいっぱい風土記の丘は桜の頃又来てみたいと思うところでした。森下さんには急きょリーダー代役で大変お世話になりました。ありがとうございます。参加のみなさんの協力もあり 楽しい山行となりました。

(杉谷 記)

**教育部山行 蓬萊峽(岩登り教室) 11月20日**

CL 高桑、SL 木村(順) 参加7名

阪急 宝塚 バス停 09:15 ー 座頭谷 バス停 09:35 ー 蓬萊峽 09:45  
(小屏風にて、岩登り教室) 蓬萊峽 16:30 ー 宝塚駅 17:30

蓬萊峽の紅葉の中、冬山登山訓練の方が多く、岩とアイゼンの軋む耳障りな音が返って冬山への注意力を高めるような気がする。小屏風には先約がいて初心者にはちょっと難しいコースで訓練を開始する。今回はビレイヤー育成も兼ねて、初めての方2名を含め6名がビレイヤーを務める。岩登りでは登ることと同様にビレイ技術の難しさも理解できた一日であった。

(高桑 記)

## 有志山行 東北山行 月山・八甲田山・鳥海山・蔵王

10月7日～13日 L吉田（隆）他4名

8日 月山

月山パーキング 7:35…リフト分岐…牛首 9:40…10:45 に引き返す…12:00  
月山リフト待合所 13:25…月山パーキング 13:40

10日 八甲田山

酸ヶ湯温泉登山口 6:15…仙人岱避難小屋分岐 7:35…大岳 8:50～9:00…大岳避難小屋 9:30…上毛無岱分岐 10:10…下毛無岱分岐…10:55…城ヶ倉温泉分岐 11:30…酸ヶ湯温泉 12:00

11日 鳥海山

鉾立登山口 6:20…賽の河原 7:40…御浜小屋 8:10…御室加也 11:30…新山…御室小屋 13:25…七五三掛 14:05…御田ヶ原 14:30 鉾立登山口 16:40

この歳になって最初で最後(?)の長い行程の山旅。そしてまた、初体験の出来事が満載の思い出深い山行となりました。

まずは、月山

雨具をつけて、多少、風のある出発でしたが、頂上の稜線に2～3歩足を入れた途端、想像を絶する恐ろしい強風に見舞われ、立ってられず、前にも後ろにも進めず、バチバチと『ヒョウ』の粒を顔に叩き付けられながら、なんとかその場をのがれ、リーダーの指示で、頂上目前でしたが下山することにしました。

鳥海山の新山では、

胎内くぐりと言うスリリングな岩場を抜けて、雪の残っている岩場をリーダーの助言を励ましに、滑らないよう、三点確保を心がけ、一步ずつ、ゆっくりすすみました。途中、『私は、もうここで待っています』と言って怖がっている私に、時間をかけて、私の意向を待ってくれたYさん、Gさん。ご迷惑をおかけしました。お陰様であの「新山」を制覇できました。ありがとうございます。

八甲田山では、

頂上は銀世界、下山は、錦絵の紅葉と草紅葉、真っ白な雪に、真っ赤なナナカマドの実が映えて、天国のような草原を満喫しました。

宿泊場所のハプニングや、霧の深い道路など、怖くて愉快的な旅でした。大阪～青森まで長時間、そしてまた登山口までの往復など、ドライバーのSさんには頭がさがります。後ろで寝ていてごめんなさい！ 山では、個人の技量も大切な一因ですが、メンバーとの信頼感が、困った時の対処の仕方や、疲れた時の励まし合いになると痛感した山行でした。メンバーの皆さん、ほんとに有難うございました。

(上坂 記)